



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和 6 年度

国営造成施設総合水利調整管理事業

大淀川水系農業用ダム洪水調節機能強化検討業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
南部九州土地改良調査管理事務所

九州農政局

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名	国営造成施設総合水利調整管理事業
業務名	大淀川水系農業用ダム洪水調節機能強化検討業務

業務別業務名: 農業用ダム洪水調節機能強化検討

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 1号 ***					
S63003	1-1. 貸与資料等の整理等 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数 3)主任技師の人数 4)技師 A の人数 5)技師 B の人数 6)技師 C の人数 7)技術員の数	0.00人 0.00人 3.00人 5.00人 5.00人 5.00人 0.00人		時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
R04003	主任技師	3.000	人	64,800	194,400	
R04004	技師 (A)	5.000	人	57,000	285,000	
R04005	技師 (B)	5.000	人	47,200	236,000	
R04006	技師 (C)	5.000	人	38,400	192,000	
	合 計				907,400	算出数量 1.000 式
	単 価		式		907,400	
	*** S 単 - 2号 ***					
S63003	1-2. ダム諸量データ等の整理等 (内業) 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数 3)主任技師の人数 4)技師 A の人数 5)技師 B の人数 6)技師 C の人数 7)技術員の数	0.00人 0.00人 3.00人 9.00人 15.00人 18.00人 0.00人		時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
R04003	主任技師	3.000	人	64,800	194,400	
R04004	技師 (A)	9.000	人	57,000	513,000	
R04005	技師 (B)	15.000	人	47,200	708,000	
R04006	技師 (C)	18.000	人	38,400	691,200	
	合 計				2,106,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		2,106,600	
	*** S 単 - 3号 ***					
S63003	2. ダム洪水調節効果検証 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数 3)主任技師の人数 4)技師 A の人数 5)技師 B の人数 6)技師 C の人数 7)技術員の数	0.00人 0.00人 9.00人 24.00人 45.00人 45.00人 36.00人		時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
R04003	主任技師	9.000	人	64,800	583,200	
R04004	技師 (A)	24.000	人	57,000	1,368,000	
R04005	技師 (B)	45.000	人	47,200	2,124,000	
R04006	技師 (C)	45.000	人	38,400	1,728,000	
R04007	技術員	36.000	人	33,600	1,209,600	
	合 計				7,012,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		7,012,800	

事業名 国営造成施設総合水利調整管理事業						
業務名 大淀川水系農業用ダム洪水調節機能強化検討業務						
業務別業務名: 農業用ダム洪水調節機能強化検討						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 4号 ***					
S63003	3-1. 降雨予測と実績降雨比較検証		式		1.000 式	歩 A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00 人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00 人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	3.00 人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	9.00 人				
	5) 技師 B の人数	9.00 人				
	6) 技師 C の人数	12.00 人				
	7) 技術員の数	0.00 人				
R04003	主任技師					
		3.000	人	64,800	194,400	
R04004	技師 (A)					
		9.000	人	57,000	513,000	
R04005	技師 (B)					
		9.000	人	47,200	424,800	
R04006	技師 (C)					
		12.000	人	38,400	460,800	
	合 計				1,593,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,593,000	
	*** S 単 - 5号 ***					
S63003	3-2. 流入予測手法改善方法の検証		式		1.000 式	歩 A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00 人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00 人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	3.00 人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	9.00 人				
	5) 技師 B の人数	12.00 人				
	6) 技師 C の人数	15.00 人				
	7) 技術員の数	0.00 人				
R04003	主任技師					
		3.000	人	64,800	194,400	
R04004	技師 (A)					
		9.000	人	57,000	513,000	
R04005	技師 (B)					
		12.000	人	47,200	566,400	
R04006	技師 (C)					
		15.000	人	38,400	576,000	
	合 計				1,849,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,849,800	
	*** S 単 - 6号 ***					
S63003	4. 照査		式		1.000 式	歩 A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00 人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00 人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	5.00 人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	0.00 人				
	5) 技師 B の人数	0.00 人				
	6) 技師 C の人数	0.00 人				
	7) 技術員の数	0.00 人				
R04003	主任技師					
		5.000	人	64,800	324,000	
	合 計				324,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		324,000	
	*** S 単 - 7号 ***					
S63003	5. 点検とりまとめ		式		1.000 式	歩 A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00 人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00 人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	

事業名	国営造成施設総合水利調整管理事業
業務名	大淀川水系農業用ダム洪水調節機能強化検討業務

業務別業務名: 農業用ダム洪水調節機能強化検討

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	4.00人				
R04003	主任技師					
		2.000	人	64,800	129,600	
R04004	技師 (A)					
		3.000	人	57,000	171,000	
R04005	技師 (B)					
		3.000	人	47,200	141,600	
R04006	技師 (C)					
		3.000	人	38,400	115,200	
R04007	技術員					
		4.000	人	33,600	134,400	
	合 計				691,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		691,800	
	*** S単 - 8号 ***					
S63007	1-2.ダム諸量データ等の整理等(外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	5.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	5.00人				
	5)技師Bの人数	5.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
	外業	5.000	人	64,800	324,000	
R04004	技師 (A)					
	外業	5.000	人	57,000	285,000	
R04005	技師 (B)					
	外業	5.000	人	47,200	236,000	
	合 計				845,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		845,000	
	*** S単 - 9号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
	外業	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)					
	外業	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師 (B)					
	外業	1.000	人	47,200	47,200	
	合 計				169,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		169,000	
	*** S単 - 10号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,1日			豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	2)打合せ	着手前・最終		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				

事業名 国営造成施設総合水利調整管理事業						
業務名 大淀川水系農業用ダム洪水調節機能強化検討業務						
業務別業務名: 農業用ダム洪水調節機能強化検討						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	1.000日				
R04003	主任技師					
		1.500	人	64,800	97,200	
R04004	技師 (A)					
		1.500	人	57,000	85,500	
	合 計				182,700	算出数量 1.000 回
	単 価		回		182,700	
	*** S 単 - 11号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩 A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種, 中間, 0.00人, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.5日, 1日			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	2)打合せ	中間		深夜時間: 0.0		
	3)設計用主任技師人数	0.00人				
	4)設計用技師 (A) 人数	1.00人				
	5)設計用技師 (B) 人数	1.00人				
	6)設計用技師 (C) 人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	1.000日				
R04004	技師 (A)					
		1.500	人	57,000	85,500	
R04005	技師 (B)					
		1.500	人	47,200	70,800	
	合 計				156,300	算出数量 1.000 回
	単 価		回		156,300	
	*** S 単 - 12号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1.000 回	歩 A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種, 着手前・最終, 滞在して打合せ, 乙地, なし, ライトバン, 1日, 4時間, 100km L (100km以上)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
				豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間: 0.0		
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師 A 配置人員	1人				
	5)技師 B 配置人員	0人				
	6)技師 C 配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	1.00日				
	9)宿泊区分	滞在して打合せ				
	10)宿泊地	乙地				
	11)補正区分	なし				
	12)交通機関区分	ライトバン				
	13)高速道路往復料金 (税別)	10,400円				
	14)鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				
	15)バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	16)船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	17)航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	18)ライトバン使用日数	1日				
	19)時間区分	4時間				
	20)往復移動距離区分	100km L (100km以上)				
P54202	設計用主任技師日当 消費税抜き	2.000	人	1,182	2,364	
P54203	設計用技師 (A) 日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54002	設計用主任技師宿泊費 (乙地) 消費税抜き (7 級相当)	1.000	人	10,727	10,727	
P54003	設計用技師 (A) 宿泊費 (乙地) 消費税抜き (6 級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	10,400	10,400	
M28121	ライトバン [ガソリンエンジン 二輪駆動] 乗車定員 5 名 排気量 1.5L	1.000	日	1,960	1,960	
P34001	ガソリン J I S 2 号 レギュラースタンド	10.800	L	161	1,739	
	合 計				38,099	算出数量 1.000 回
	単 価		回		38,099	
	*** S 単 - 13号 ***					

事業名	国営造成施設総合水利調整管理事業
業務名	大淀川水系農業用ダム洪水調節機能強化検討業務

業務別業務名: 農業用ダム洪水調節機能強化検討

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S63011	打合せ（設計旅費・交通費）		回		1.000	歩A 当たり算出
	打合せ（設計旅費・交通費） 一般工程、中間、滞在して打合せ、乙地、なし、ライトバン、1日、4時間、 100km L（100km以上）			時間的制約：なし 夜間制約作業時間：0.0 豪雪補正：なし 基本給時間：8.0 深夜時間：0.0	制約作業時間：0.0 冬期補正：なし 亜熱帯補正：なし 超勤時間：0.0	
	1)設計工程 2)打合せ内容 3)主任技師配置人員 4)技師A配置人員 5)技師B配置人員 6)技師C配置人員 7)打合せ日数 8)往復移動日数 9)宿泊区分 10)宿泊地 11)補正区分 12)交通機関区分 13)高速道路往復料金（税別） 14)鉄道往復1人当料金（税別） 15)バス往復1人当料金（税別） 16)船舶往復1人当料金（税別） 17)航空往復1人当料金（税別） 18)ライトバン使用日数 19)時間区分 20)往復移動距離区分	一般工程 中間 0人 1人 1人 0人 0.50日 1.00日 滞在して打合せ 乙地 なし ライトバン 10,400円 0円 0円 0円 0円 1日 4時間 100km L（100km以上）				
P54203	設計用技師（A）日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54204	設計用技師（B）日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54003	設計用技師（A）宿泊費 （乙地）消費税抜き（6級相当）	1.000	人	8,909	8,909	
P54004	設計用技師（B）宿泊費 （乙地）消費税抜き（4級相当）	1.000	人	8,909	8,909	
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	10,400	10,400	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,960	1,960	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	10.800	L	161	1,739	
	合 計				35,917	算出数量 1.000 回
	単 価		回		35,917	
	*** S単 - 14号 ***					
S63017	旅費交通費（設計外業宿泊用）		式		1.000	歩A 式 当たり算出
	旅費交通費（設計外業宿泊用） 乙地、ライトバン、1.00日、1日、4時間、なし、100km L（100km以上）			時間的制約：なし 夜間制約作業時間：0.0 豪雪補正：なし 基本給時間：8.0 深夜時間：0.0	制約作業時間：0.0 冬期補正：なし 亜熱帯補正：なし 超勤時間：0.0	
	1)宿泊地 2)交通機関区分 3)高速道路往復料金（税別） 4)鉄道往復料金[全員分合算]（税別） 5)バス往復料金[全員分合算]（税別） 6)船舶往復料金[全員分合算]（税別） 7)航空往復料金[全員分合算]（税別） 8)往復移動日数 9)ライトバン使用日数 10)時間区分 11)補正区分 12)技師長外業日数 13)主任技師外業日数 14)技師A外業日数 15)技師B外業日数 16)技師C外業日数 17)技術員外業日数 18)往復移動距離区分	乙地 ライトバン 10,400円 0円 0円 0円 0円 1.00日 1日 4時間 なし 0.000日 5.000日 5.000日 5.000日 0.000日 0.000日 100km L（100km以上）				
P54202	設計用主任技師日当 消費税抜き	2.000	人	1,182	2,364	
P54203	設計用技師（A）日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54204	設計用技師（B）日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54002	設計用主任技師宿泊費 （乙地）消費税抜き（7級相当）	1.000	人	10,727	10,727	
P54003	設計用技師（A）宿泊費 （乙地）消費税抜き（6級相当）	1.000	人	8,909	8,909	
P54004	設計用技師（B）宿泊費 （乙地）消費税抜き（4級相当）	1.000	人	8,909	8,909	
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	4.000	人	8,354	33,416	
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	4.000	人	8,354	33,416	

[illegible]

令和6年度国営造成施設総合水利調整管理事業
大淀川水系農業用ダム洪水調節機能強化検討業務

特別仕様書

九州農政局 南部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総 則

第1-1条（適用範囲）

令和6年度国営造成施設総合水利調整管理事業 大淀川水系農業用ダム洪水調節機能強化検討業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第1-2条（目 的）

本業務は、大淀川水系農業用ダムにおける過年度の水利用状況及び事前放流の取組状況の調査を行い、ダムの洪水調節効果の検証、降雨予測を踏まえた流入予測手法の改善方法等について検討を行うものである。

第1-3条（場 所）

本業務において対象とする農業用ダムは以下のとおりであり、別添「業務位置図」に示すとおりである。

県	地区名	ダム名	河川名	所在地
宮崎県	大淀川左岸地区	広沢ダム	大淀川水系浦之名川	東諸県郡綾町
宮崎県	大淀川右岸地区	天神ダム	大淀川水系境川	宮崎市田野町
宮崎県	都城盆地地区	木之川内ダム	大淀川水系木之川内川	都城市山田町
鹿児島県	曽於東部地区	中岳ダム	大淀川水系大淀川	曽於市末吉町
鹿児島県	曽於北部地区	谷川内ダム	大淀川水系谷川内川	曽於市財部町

第1-4条（一般事項）

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 作業実施の順序・方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
- (2) 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
- (3) 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

第1-5条（管理技術者）

管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技 術 士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農 業	農業土木、農業農村工学
博 士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネジャー	農 業 土 木	

第1-6条（照査技術者）

- (1) 照査技術者は、共通仕様書第1-7条第2項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技 術 士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農 業	農業土木、農業農村工学
博 士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農 業 土 木	

(2) 共通仕様書第1-7条第4項でいう、監督職員が指示する業務の節目とは次のとおりとする。

- 1) 業務計画作成時
 - 2) 過年度の水利用状況及び取組状況の調査整理時
 - 3) 事前放流によるダムの洪水調節効果の検証時
 - 4) 降雨予測を踏まえた流入予測手法の改善方法の検討時
 - 5) 成果品作成時
 - 6) その他、照査計画作成時において監督職員が指示した場合
- (3) 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

第1-7条（担当技術者）

担当技術者は、共通仕様書第1-8条によるものとする。

第1-8条（配置技術者の確認）

共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

第1-9条（保険加入）

受注者は、共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

第2-1条（基本条件）

本業務における基本条件は、次のとおりである。

ダム名	有効貯水量	洪水調節可能容量	基準降雨量／継続時間
広沢ダム	3,800千m ³	347千m ³	158mm/6hr
天神ダム	6,200千m ³	813千m ³	200mm/6hr
木之川内ダム	6,010千m ³	564千m ³	154mm/6hr
中岳ダム	4,250千m ³	331千m ³	148mm/6hr
谷川内ダム	1,920千m ³	225千m ³	147mm/6hr

第2-2条（参考図書）

設計作業の参考にする図書は、共通仕様書第2-1条によるほか次表によるものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定（改定）年月
1	土地改良施設管理基準 ーダム編ー	農林水産省	令和5年5月
2	事前放流ガイドライン	国土交通省 水管理・国土保全局	令和3年7月

第2-3条（貸与資料）

本業務における貸与資料は次のとおりである。

番号	貸 与 資 料	数量
1	水利使用規則（各土地改良事業）	1 式
2	管理規程（各ダム）	1 式
3	令和2年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 九州農政局農業用ダム洪水調節機能強化検討業務 報告書	1 部
4	令和3年度国営造成水利施設総合水利調整管理事業 浜ノ瀬ダム洪水調節機能強化検討業務 報告書	1 部
5	令和5年度国営造成水利施設総合水利調整管理事業 高隈ダム他洪水調節機能強化検討業務 報告書	1 部

また、上記以外に必要な資料がある場合は監督職員と協議するものとする。

第2-4条（貸与資料の取扱い）

第2-2条、第2-3条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、設計作業時点の最新版を用い設計作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

第3章 作業内容

第3-1条（作業項目及び数量）

本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。なお、詳細は別紙「作業項目内訳表」に示すものとする。

【作業項目表】

作 業 項 目	数 量	備 考
1. 過年度の水利用状況及び取組状況の調査	1 式	
2. 事前放流によるダムの洪水調節効果の検証	1 式	
3. 降雨予測を踏まえた流入予測手法の改善方法の検討	1 式	

4. 照査	1 式	
5. 点検とりまとめ	1 式	

第3-2条（作業の留意点）

業務の実施にあたって、特に留意する点は次のとおりとする。

- (1) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (2) 第2-2条、第2-3条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (3) 各ダムにおけるこれまで事前放流の実績は、木之川内ダム1回、中岳ダム1回であることから、事前放流によるダムの洪水調節効果の検証にあたっては、実績による検証に加えシミュレーションによる検証を実施するものとする。
- (4) 第3-1条に示す作業項目の検討結果を踏まえ、「洪水調節機能強化に係るダム運用の見直し」について、作業を変更追加することがある。
- (5) 事前放流ガイドラインに基づく予測降雨量システムのID、パスワードについては業務契約後に付与する。

第4章 打合せ

第4-1条（打合せ）

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 事業着手段階

第2回 中間打合せ（過年度の水利用状況及び取組状況の調査整理段階）

第3回 中間打合せ（事前放流によるダムの洪水調節効果の検証段階）

第4回 中間打合せ（降雨予測を踏まえた流入予測手法の改善方法の検討段階）

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

第5章 成果物

第5-1条（成果物）

成果物を共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- (1) 成果物の電子媒体（CD-R等）正副2部
- (2) 成果物の出力1部（電子媒体の出力、白表紙黒文字製本）

なお、報告書には本業務の要約版を掲載するものとする。

第5-2条（成果物の提出先）

成果物の提出先は、次のとおりとする。

宮崎県都城市志比田町4778-1

九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所

第6章 契約変更

第6-1条 (契約変更)

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第2-1条に示す「基本条件」に変更が生じた場合
- (2) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合
- (3) 第3-2条に示す「作業の留意点」に変更が生じた場合
- (4) 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合
- (5) 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合
- (6) 履行期間の変更が生じた場合
- (7) 関係機関等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合
- (8) その他

第7章 定めなき事項

第7-1条 (定めなき事項)

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙「作業項目内訳表」

作業項目	作業内容	作業 実施欄
1. 過年度の水利用状況及び取組状況の調査		
	(1)貸与資料等の既存資料を収集、整理し、業務計画書を作成する。	○
	(2)事前放流の検討に関する以下の項目について、ダム管理者への聞き取り調査を行うとともに、ダム諸量データ等を収集、整理する。 1)雨量、ダム流入量、ダム放流量、貯水位等の実測データや予測データ 2)事前放流の実施状況及び実施体制 3)事前放流実施時の作業内容及び操作方法 4)警報活動及び情報連絡体制 5)下流河川（基準地点等）の水位変化	○
2. 事前放流によるダムの洪水調節効果の検証		
	(1)事前放流による洪水調節効果の検証を行うために、以下の作業を行う。 1)事前放流を実施した場合、しなかった場合の下流河川への影響等を実績水位及びシミュレーションにより確認する。 2)事前放流を実施した場合、しなかった場合の放流量、流入量、水位を時系列に比較する。 3)降雨確率や降雨波形等の違いによる流入量の整理比較を行い、ダムから放流されるピーク流量や下流河川への影響についてシミュレーションを行う。 4)上記1)～3)の結果から、ダム洪水調節効果の検証を行う。	○
3. 降雨予測を踏まえた流入予測手法の改善方法の検討		
	(1)降雨予測と実績降雨の精度の検証を行うため、事前放流ガイドラインに基づく予測降雨量システムから示される降雨予測と実績降雨を比較し整合性を確認する。	○
	(2)流入予測手法の改善方法を検討するために、以下の作業を行う。 1)現在設定されている流出係数で計算された流入量と実績流入量を比較し、流出係数の再検討を行う。 2)上記1)で検討した流出係数を用いて算定された流入量と実績流入量を比較し、妥当性の検証を行う。	○
4. 照査		
	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	○
5. 点検とりまとめ		
	業務成果資料の点検及びとりまとめを行い、業務報告書を作成する。	○

令和6年度 国営造成施設総合水利調整管理事業
大淀川水系農業用ダム洪水調節機能強化検討業務

図面目録

番号	図面名称	枚数	備考
1	業務位置図	1	
計		1	

業務位置図

令和6年度国営造成施設総合水利調整管理事業
業務名：大淀川水系農業用ダム洪水調節機能強化検討業務

令和6年3月

